

建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応調査

香南地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
香南地区	1	県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備	<p>県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備については、高松市から香川県に対して強く要望しているにも関わらず、香川県では当面の対策として、現道の機能強化による効果の検証を行う必要があるとの理由で、国道193号交差点から県道高松香川線の区間において、交差点改良および歩道整備の検討を行っており、バイパス道路の具体的な整備については白紙状態です。</p> <p>現道である県道三木綾川線の朝夕の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、高松空港をはじめ高松西インターチェンジや新高松市民病院への重要なアクセス道路として、県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備について、高松市として香川県に対して引き続き働き掛けをされるよう要望します。</p>	都市整備局	道路課	<p>県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備につきましては、これまで、県に対し強く要望してまいりましたが、平成20年8月に、県から方針が示され、当面の対策として、現道の機能強化を基本とし、バイパスルートの整備については、人口減少に伴う将来交通量の推計や、現道の機能強化による効果の検証を行う必要があることから、現時点では、検討を進めることは難しいと伺っております。今後も、この道路の構想の推進につきましては、高松市が、整備を進めております、市道下川原北線（香東川橋梁を含む）の整備状況を見極めながら、引き続き、県に対し、強く要望してまいりたいと存じます。</p> <p>なお、現在、県では、国道193号交差点から高松香川線の区間の改良につきましては、本年8月30日に、川東コミュニティセンターにおいて計画法線、計画幅員について地元説明会を開催し、今後、詳細設計を進め、地元調整が整えば用地の境界立会を行う予定と伺っております。</p>
香南地区	2	県道の整備	<p>高松市が生活基幹道路として整備する、香川町から香東川を渡り香南町の市道城渡吉光線までの区間から西方向については、香東川橋梁から県道円座香南線までの区間に、東西にはほぼ直線で走る新しい県道ができれば、非常に分かりやすく走りやすい道路となり、交通安全面での有効な道路になって、広く多くの県民がこの橋を利用することになるとともに、結果的に県道三木綾川線バイパスルート（仮称）を補完する道路にもなると思います。高松市が整備する香東川橋梁の供用開始まで、当該県道整備の事業化に取り組みられるよう、高松市として香川県に対して働き掛けをされるよう要望します。</p> <p>また、県道円座香南線は由佐街道として古くから香南町の南北の幹線道路として親しまれている県道であるものの、大規模な道路改良についてはなされておらず、路肩の幅員も十分でなく歩行者には危険な道路です。高松市の生活基幹道路として整備する香東川の新しい橋梁を利用した車両等が、県道円座香南線を安全に通行するためにも、歩道の整備を含めた道路改良工事を行うよう、高松市として香川県に対して引き続き働き掛けをされるよう要望します。</p>	都市整備局	道路課	<p>本市では、県道網の補完につながる生活基幹道路として、香川町から香東川を渡り香南町の市道城渡吉光線までの区間（470メートル）について市道下川原北線（香東川橋梁を含む）の整備を進めており、現在、香川町側の地元調整に、積極的に取り組んでいるところでございます。香東川橋梁から県道円座香南線までの区間の道路整備につきましては、引き続き、県に対し強く要望してまいりたいと存じます。</p> <p>また、県道円座香南線の歩道の整備を含めた道路改良工事につきましては、「県としては、現在、具体的な事業計画は無いが、地権者等地元関係者の協力が得られる場合は、今後、調査・検討を進めてまいりたい。」と伺っており、市といたしましては、引き続き、整備が図られるよう、県に対して要望してまいりたいと存じます。</p>
香南地区	3	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備	<p>香川県議会において、その整備が凍結されていましたが、地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）について、一定の方向性が示され、香南町内の工事区間については、既存の道路の拡幅や一部区間においてバイパス整備を行い、空港へのアクセス向上を図ることが発表されました。</p> <p>このことは、高松市が粘り強く香川県に働きかけた成果であり、今後も香川県と綿密な協議等を行い、関連する市道香川綾南線の拡幅やバイパス整備については、特に周辺住民の安全対策を講じるとともに、早急に地元説明会を開催するよう、高松市として香川県に対して引き続き働き掛けをされるよう要望します。</p>	都市整備局	都市計画課 道路課	<p>地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）は、高松西インターから高松空港を結ぶ、約9キロメートルの区間で、自動車専用の地域高規格道路として、平成11年度より、県が事業主体となり、整備が進められていましたが、19年度に、県が策定した財政再建方策により、その整備が凍結され、中間工区（主要地方道三木国分寺線から県道岡本香川線までの間、約3キロメートル）において、側道による暫定二車線として、23年3月に、供用が開始されたところでございます。その後、本市といたしましては事業の継続性を確保し、早期に事業が再開されるよう、県へ働きかけをいたしました。</p> <p>こうした中、本年2月の県議会において、中間工区の4車線化とともに、国道・県道と琴電琴平線と交差する約0.6キロメートル区間を高架化とすることとし、また、香南工区においては、既存の道路の拡幅や一部区間においてバイパス整備を行い空港へのアクセス向上を図ることが発表されたものでございます。その後、6月には高架構造物の詳細設計に着手したと聞き及んでおります。</p> <p>この道路は、空港の拠点性の向上や地域の活性化を図る上で、重要な路線でありますことから、早期に整備が図られるよう、今後とも、適切に、県に対し、働きかけてまいりたいと存じます。</p> <p>市道香川綾南線の拡幅につきましては、現在、バイパス整備に伴う修正設計を実施しており、設計完了後、土地所有者等関係者への説明を行ってまいりたいと存じます。</p>
香南地区	4	香南子ども園の運営支援	<p>日常運営の中での安心・安全の視点から、学級担任が学級での指導に専念できるように教職員を増配し、特別保育は指導者に専門的知識や技能等が要求されるため、それに対応した教職員を配置するとともに、特別保育のレベルアップを図るための教職員研修を実施されるよう要望します。</p> <p>また、幼児教育の重要性に鑑み、高松市の幼保一体化施設のモデル園にふさわしい幼児教育を実施するための、教材・教具の整備充実を図るよう要望します。</p>	健康福祉局	子ども園運営課	<p>現在、子ども園では3～5歳児担任は、幼稚園教諭と保育士による複数担任とし、手厚く充実した教職員配置としております。また、障がい児保育、延長保育、地域子育て推進事業、一時預かり事業などの特別保育の実施については、各担当加配職員を配置するとともに、研修機会の充実にも努めております。</p> <p>さらに、教職員が担任クラスの教育保育に専念でき研修しやすいよう、事務パートおよびバス送迎パート職員を配置しております。</p> <p>現在、高松市では5施設の子ども園がありますが、今後とも、それぞれの地域等の特色を活かした各子ども園の教育保育が充実できるよう、環境整備に努めてまいりたいと存じます。</p>

建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見に対する対応調査書

香南地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
香南地区	5	香南小学校大規模改修工事の早期着工	香南小学校については、国の補助事業を受け、平成16年度に屋内体育館、平成17年度には南教室棟の大規模改修工事を終えています。 未改修となっている、中教室棟および北教室棟の大規模改修工事の早期着工を要望するとともに、特に中教室棟にある教職員室は、建設当時に比べて職員数が増えているにも関わらず建設当時のままであり、教職員室の増築についてもあわせて要望します。	教育局	総務課	国においては、老朽化した小・中学校の校舎などの効果的な建て替えや改修の在り方についての検討を始めたところで、今年度末には、施設等の改修等に向けた具体的な手法や長寿命化対策などをまとめた初の指針となる「学校施設老朽化対策ビジョン」（仮称）を策定する予定であると伺っております。 本市においても、今後、香南小学校も含め、小・中学校の学校施設の改修や建て替えが集中すると見込んでおり、国から示される指針を参考に、老朽化対策の検討を進めてまいりたいと存じます。また、職員室の増築につきましては、今後、児童数は減少傾向ですの、学校とも相談しながら、既存施設の改修など有効活用で対応してまいりたいと存じます。
香南地区	6	防災行政無線の拡充	防災行政無線のデジタル化に対応するための工事が予定されていますが、屋内での防災ラジオタイプの受信機による情報提供に加え、不特定多数の住民に対して、いつ発生するかわからない地震や台風等の災害情報を伝えるために、屋外子局の増設を要望します。 また、屋内での防災ラジオタイプの受信機については、希望者が購入しやすい価格帯の機種選定を行うとともに、災害弱者等に対しては貸与や購入補助についてもあわせて検討されるよう要望します。	総務局	危機管理課	香南地区におけるアナログ式防災行政無線からデジタル式防災行政無線への更新は、本年完了予定でございます。屋外拡声子局につきましては、市内全域の設置計画から、現在のところ増設の予定はございません。 防災ラジオにつきましては、放送設備の整備を行う計画ですが、情報入手ツールの多様化や、旧高松市地域も含めた需要のバランス等から、補助制度については検討してはおりませんが、性能を確認した上で利用者ができるだけ安価なものを購入できるよう努めてまいりたいと存じます。
香南地区	7	南部地域における特色あるスポーツ施設の整備	南部地域における特色あるスポーツ施設の整備については、香南地区の建設計画の中でも重点取組み事項に位置付けられており、定例会や検討会において、その具体化に向けた協議を積み重ねてまいりました。 整備候補地および施設内容等については、これまでの協議結果を尊重するとともに、建設計画の期限内に全ての事業を完了されるよう要望します。	創造都市推進局	スポーツ振興課	建設計画については、誠意を持って実施するものの、平成24年3月高松市議会において、整備について十分な議論がなされていない等の指摘があり、これまでの考え方を見直し、市民が必要としているスポーツ施設は何かの、市議会や地域審議会の御意見を聞きながら対応方針を明らかにすると答弁を行いました。 今後は、平成21年2月に行った本市のスポーツ施設の現状分析の時点修正を行い、必要としているスポーツ施設の再分析を行い、分析結果等を市議会や地域審議会へ説明し、再度、候補地および施設内容等を協議してまいりたいと存じます。
香南地区	8	「ししまる館」図書室の充実	ししまる館はこども園や小中学校に隣接し、高松市放課後児童クラブの実施場所にもなっており、子どもたちが立ち寄るには最も安全な場所になっています。ししまる館を利用した、地区保健委員会の「乳幼児の子育て広場」での本の読み聞かせでは、親子のふれあいも深まり本好きな子どもたちが育まれています。 幼少期から本に親しむ習慣を身につけることはとても重要であり、ししまる館の図書室に子育て中の親子等も利用できる「親子ふれあい読書コーナー」を設置するとともに、常備図書については定期的に更新されるよう要望します。	健康福祉局	子育て支援課	現在、就学前の親子が主に使用している、ししまる館のおおぐま室において、「子育て支援コーナー」を設置し、子ども用の絵本と子育て中の保護者が参考にできる子育て支援の関係の本を配架し、定期的に更新して、貸出しできるように検討したいと存じます。